

みんなで「夢、実現」

市民協働により 住み良い 発展がつづく都市づくり



H30.4 人口97,000人プロジェクト達成記念セレモニー



H30.9 千歳市観光PR大使の演歌歌手 水森かおりさんと「支笏湖は元気です」



H29.4 たいよう学童クラブ にこにこ学童クラブ 開所式



H30.3 千歳市手話言語条例制定を記念して

山口 幸太郎 市長

4期目の市政報告

平成30年12月

市民協働により 住み良い 発展がつづく都市づくり

3つの 活力

3つの 安心

市民の皆さまの負託のもと、四期目の市政を担当し、早くもその任期が満期を迎えようとしています。

この間、国の経済においては、大胆な金融緩和や一連の経済対策を積極的に展開することにより、雇用・所得環境の改善が続く中で、緩やかな回復が続くことが期待されています。

一方、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響に加え、相次ぐ自然災害が経済に及ぼす影響に十分留意する必要があります。

さらに、地方経済においては、一部における個人消費の持ち直しの動きや雇用面での改善傾向なども見られますが、少子高齢化、人口減少社会という構造的な要因により国内市場が収縮傾向となることに加え、これらを背景とした社会保障費の増加や公共・公用施設の維持補修費の増大など、地方財政の先行きは大変厳しい状況にあります。



このような中、私は、公約の実現とともに第6期総合計画の着実な推進を図り、人口9万7千人の達成を目指し、様々な施策に取り組んでまいりましたが、厳しい経済環境をはじめ、自衛隊の体制維持問題や新千歳空港をはじめとする道内7空港の経営改革への対応など、多くの難題にも直面し、その責任の重さを改めて痛感した4年間でありました。

私は、市民一人ひとりが持つ知識や経験などの「市民力」と、本市が持つ特性や資源などの「都市力」、この二つの原動力をもって市民協働によりまちの活力が循環し、持続していく流れを作り上げることが、私の使命であると認識し、9万7千市民が「千歳に住んでよかった」と実感できる郷土づくりを目指し、全力を尽くしてまいりました。

【一年一字】

年頭にあたり、一年に寄せる思いを漢字一字に表しています。

平成30年 年頭
千歳市長 山口幸太郎

成長を続ける本市が、より「高い」目標を掲げ、市民の皆さまと一緒に、さらなる「高み」を目指す一年に。

平成29年 年頭
千歳市長 山口幸太郎

施策が「成果」となって表われ、まちの「成長」につなげることにより、市民の皆さまがこのまちに住み続けたいと思っていただける一年に。

平成28年 年頭
千歳市長 山口幸太郎

新たな千歳の魅力を「発見」し、定住人口や来訪者が増加するよう魅力を「発信」して、千歳の大きな「発展」につながる一年に。

平成27年 年頭
千歳市長 山口幸太郎

まちの勢いを止めることなく、本市が持つ特性や優位性を最大限に生かし、伸びゆく一年に。

【第6期総合計画及び移住・定住施策の推進】

平成23年にスタートした「千歳市第6期総合計画」については、将来都市像である「みんなで生き生き 活力創造都市 ちとせ」の実現に向け、今日の社会情勢や財政状況等の変化を踏まえつつ、公約との整合を図りながら、その着実な推進に努めてまいりました。

前半5か年が経過した平成28年には、目指す将来人口を9万7千人に上方修正し、全市をあげて、まちの発展の勢いを持続するための施策を戦略的に展開してきたところであります。

こうした取組の成果と市民及び企業の皆様のご協力により、人口は堅調に増加し、平成30年4月18日には、本市の人口が初めて97,000人を上回り、計画よりも約2年前倒して目標人口を達成することができました。

全国的、特に北海道の人口が顕著に減少する中において、本市は全道で最も平均年齢が若く、数少ない人口増加を続けている都市です。

今後も本市がこの勢いを持続させ発展を続けていくため、まちの活力の源泉である人口の拡大に取り組み、さらなる『高み』である人口10万人の目標を市民皆さまと共有し、一人ひとりが持つ市民力と、まちが持つ都市力を大きな推進力としながら、その実現に向け、自然動態や社会動態をもとに全市的な人口推計を行い「人口ビジョン」を改訂するほか、平成33年度を始期とする「第7期総合計画」において、10万人を達成するための「基本理念」と「具体的な戦略」を構築してまいります。



H30.4 人口97,000人達成記念セレモニー

私は、本市がこれからも道央圏の中核都市として北海道の活性化の先導的な役割を果たすとともに、人口が増加している今こそ、本市が持つ特性と優位性を最大限に生かし、利便性や魅力をさらに高めていくことが一層重要になるものと考え、戦略的に市政に取り組みでまいりました。

これまで市政運営の大きな柱として推進してきた「市民協働」の取り組みが着実に広がってきており、また、支笏湖や新千歳空港に代表される豊かな自然と恵まれた都市環境、多種多様な企業の立地・集積など、まちに勢いと活力を与え、さらなる発展、成長につながるさまざまな特性や優位性を生かし、定住促進と交流人口の拡大に取り組みでまいりました。さらに、日本一の規模を誇る自衛隊駐屯地・基地についても、その体制を維持・強化するための活動に取り組みでまいりました。



H28.11 首都圏での観光PRプロモーション

私は、残された任期を通じて、市民一人ひとりが真に人生に夢を持ち、その夢がやがては実現でき、「千歳に住んでよかった」と実感できる都市づくりを目指し、これからも「みんなで夢実現」に向けて邁進する決意であります。なにとぞ市民の皆様のご支援ご協力をお願いいたします。



H29.11 北海道の自衛隊体制強化を求める要望（小野寺防衛大臣）

【市民協働の推進】

市政運営の大きな柱である市民協働については、平成19年4月に施行した「みんなで進める千歳のまちづくり条例」に基づき、市民提案型又は市提案型の協働事業のほか、事業者と市民活動団体をつなぐ“縁結び”事業や市民協働フォローアップ事業などに取り組むとともに、平成28年度からは「ひと・まちづくり助成事業」の制度を見直し、助成期間の延長や助成率の引き上げを実施したところであり、市民が主体となったさまざまな活動を通じて、着実に市民協働の輪が広がってきていることを実感しております。



H28.10 みんなで進めるまちづくり条例 施行10周年記念フォーラム

【防災対策への取組】

近年、全国各地で自然災害が多発しており、様々な災害から市民の生命、財産を守るため、北千歳駐屯地急傾斜地対策や千歳川総合治水対策による遊水地整備など、安心して暮らせるための環境づくりや基盤整備に取り組んでまいりました。

さらに、災害時に備えた防災備蓄倉庫を整備するとともに、災害情報等を確実に伝達できるよう防災行政無線のデジタル化のほか、小中学校の非構造部材の耐震化、消防総合庁舎の耐震化など、防災のための基盤整備にも取り組んでまいりました。

本年9月6日には、道内で観測史上初となる震度7を観測した「北海道胆振東部地震」が発災し、本市においても、観測史上最大の震度6弱が観測されました。地震等の影響により、道内の全電力が喪失する「ブラックアウト」が生じ、本市においても長時間の停電となったことから、市民及び観光客のための避難所を開設し、地域住民の方々や関係機関、また国の災害支援を受けて、対応に取り組み、その結果、幸いにも市民の生命に関わるような大きな被害はなかったところでありますが、被害にあわれた方々に対しましては、衷心よりお見舞い申し上げます。

今後も、市民の生命、財産を守るため、市民の皆さまの理解と協力を得ながら、防災関係機関と連携し、災害に強いまちづくり、ひとづくりに努めてまいります。



H30.9 北海道胆振東部地震対策本部会議



H28.9 千歳市総合防災訓練

【就職支援の推進】

若者、女性、高齢者などの就業機会の確保のため、ハローワークとの連携により、市内事業所の採用情報を収集し、求職登録者にメルマガで雇用情報を提供しているほか、平成28年度には市独自で求人情報や就職セミナー、UIターン、移住等に関する情報を配信するホームページ「しごと情報サイト『ちとせの仕事』」を開設しています。

さらに、雇用情勢の改善に伴う企業等の人材不足の課題に対しては、平成29年度からは、個別就職相談や合同企業説明会、企業向け・女性向けセミナーなどを一体的に実施する「地元就職・人材確保支援事業」を展開しております。

今後も、関係機関と連携を図りながら、若者、女性、高齢者などの就業の促進と、市内企業等における人材不足の解消に取り組んでまいります。



H30.9 合同企業説明会の様子

【企業誘致の推進】

企業誘致については、本市の交通アクセス、産業インフラ、リスク分散など立地環境の優位性を生かしながら多業種にわたる企業の立地を推進し、雇用の創出などに取り組んでまいりました。

今任期中の立地件数は、これまで26件(平成30年9月末時点)で、私が市長に就任してからは累計100件を超えたところであり、本市の産業振興に波及効果をもたらすとともに、この勢いが今後の企業誘致に弾みがつくものと期待しております。

今後も、就業先の創出や拡大、人口の増加など、まちの活気・活力を創出するため積極的に取り組んでまいります。



H28.6 市内立地企業へ訪問

【新千歳空港の深夜・早朝発着枠拡大への対応】

新千歳空港の深夜・早朝発着枠拡大については、航路直下となる地域住民の皆さまの意向等を踏まえながら、北海道との協議を重ね、平成27年8月に千歳市地域協議会を開催し、北海道から示された30枠への拡大について地域の皆さまと合意し、調印を行ったところであります。

深夜・早朝発着枠の拡大は、国際拠点空港化を目指す本市はもとより、今後の北海道経済の活性化に大きく貢献するものと考えておりますが、航路直下の地域住民の皆さまには、生活環境への影響など、更なる負担をおかけするものでもあります。

このことから、今後30枠拡大の合意に基づく住宅防音対策や地域振興対策を着実に進めるよう、北海道と連携し、取り組んでまいります。



H27.8 新千歳空港の24時間運用拡大に関する協定調印式

【新千歳空港を含む道内7空港の一括民間委託への対応】

国の空港経営改革による新千歳空港を含む道内7空港の一括民間委託への対応については、平成30年4月25日に募集要項が公表され、優先交渉権者の選定手続きが開始されました。この選定手続きに係る審査委員会には、私が北海道空港協会会長の立場で、第一次審査及び第二次審査に参加することとなり、責任の重さを痛感しているところであります。

第一次審査には4者が応募し、その中から本年9月12日に第二次審査に進む3者が選定されており、平成31年7月頃に優先交渉権者の1者が選定される予定であります。

空港とともに発展してきた千歳市の市長としましては、新千歳空港を中心として各空港が発展し、これまで以上に、人やモノが行きかう空港に成長することが重要であると考えており、その先導役として新千歳空港が更に発展するよう、今後も取り組んでまいります。



H29.6 道内7空港における空港経営改革に関する報告（内閣官房長官）

【在日米軍再編訓練への対応】

在日米軍再編に係る訓練移転については、平成28年1月に第7回目、同年12月に第8回目、平成30年4月に第9回目として、何れもタイプ の訓練が実施されたところでありますが、これまで事件・事故もなく訓練が無事終了していることに安堵しているところであります。

本市は、全国の訓練移転先6基地の関係21自治体で組織する「在日米軍再編に係る訓練移転先6基地関係自治体連絡協議会（再編協）」に加盟し、本協議会を通じ、国に対して、訓練移転が安全・安心して行われるよう十分な対策を講じるとともに、住民の福祉と生活環境改善などについて、要望活動を行ってきており、航空機騒音に対する住宅防音工事につきましても、工事の着実な実施により待機世帯は減少してきております。

また、訓練移転に伴う再編交付金については、10年間の時限立法のもと平成28年度で終了となりましたが、議会や関係協議会の皆さまとともに交付金の継続について要望活動を行い、平成29年度から新たに「再編関連訓練移転等交付金」が交付されることとなりました。



H28.12 日米共同訓練に関する庁内会議

今後とも、市民の皆さまへ速やかに情報の提供を行うとともに、国に対しては協定順守や新たな再編関連訓練移転等交付金の所要額の確保及び安定的な交付を求めるなど、引き続き市民生活の安全・安心の確保に努めてまいります。

【自衛隊体制強化の取組み】

自衛隊の体制削減等の問題については、まちづくりの根幹に影響するものであり、自衛隊の隊員の削減回避や充足率の向上等、体制の維持・強化は、本市にとって大変重要な課題であることから、「北海道自衛隊駐屯地等連絡協議会」及び「千歳市における自衛隊の体制強化を求める期成会」と連携を図りながら取組を行ってまいりました。

平成30年7月には、北海道自衛隊駐屯地等連絡協議会として、2年ぶりとなる「北海道の自衛隊を支える中央大会2018」を東京都において開催したところであり、国会議員や防衛省幹部及び自衛官OBのほか、北海道知事や道内の首長、北海道議会議長及び議員、道内議会議長及び議員、さらには自衛隊協力団体など、計285名に及ぶ多くの方々の参加をいただき、北海道における自衛隊の重要性や国防に果たす役割について、北海道の総意として強く訴えたところであります。

これら、北海道における自衛隊の重要性や、わが国の防衛に果たす北海道の役割について、多くの方に再認識していただくため、これまでに中央大会や要望活動に取り組んできたところではありますが、国において、防衛大綱の取りまとめが本格化する平成30年末に向け、北海道における自衛隊の体制強化の情勢は予断を許さない状況が続いているものと捉えております。

この問題は、本市にとりまして重要な課題でありますことから、今後も引き続き積極的に取り組んでまいります。

【子育て支援の充実】

子育て支援については、幼保連携型認定こども園の普及促進を図るとともに、これまでの保育定員を見直し、平成31年度までに約200人の定員拡大を図ることとしたほか、保育料についても国や北海道による軽減の取組に合わせ、千歳市独自の軽減策を平成29年4月1日から施行したところであります。

また、平成27年4月から、これまで地域子育て支援センターを設置していない児童館7館において、地域子育て支援拠点事業（連携型）として地域子育て支援センターを開設し、既存の3か所（基本型）と合わせ、10か所に拡充するとともに、「ちとせ子育てコン



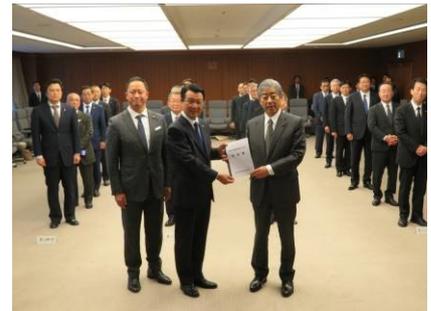
H28.8 千歳市9館合同児童館まつり

シェルジュ」をちとせっこセンター及びげんきっこセンターに配置し、子育てに関するニーズに合わせた情報提供や相談対応、子育て施設の利用支援を実施しているほか、学童クラブとランドセル来館の対象学年を小学6年生までに拡充し、さらに、平成29年4月に北陽小学校区に2つの学童クラブ、平成30年4月には緑小学校区に2つの学童クラブを開設したところであります。

今後も、「子育てするなら、千歳市」をスローガンに、安心して子どもを産み育てることができるよう、子育て家庭に対する支援策の充実に努めてまいります。



H28.8 北海道の自衛隊を支える中央大会



H30.10 岩屋防衛大臣へ要望



H28.11 南スーダン派遣隊帰国お出迎え



H30.4 みどりっこ学童クラブ よつば学童クラブ（緑小学校区）開所式

【教育の充実】

教育の充実については、平成30年度で市内小中学校すべての非構造部材の耐震化を完了したほか、校舎等の計画的な整備や、学力向上を図るための学習指導員の配置、ICT機器の整備・活用など、良好な学習環境の確保に努めてまいりました。

なお、児童数の増加により全国一の過大規模校となった北陽小学校については、これまで校舎の増築により対応してきましたが、今後の推計においても校区内の児童数が大きく減少しない見込みであり、さらに、本市として10万人のまちづくりを目指すことを踏まえ、分離新設校を整備することを平成29年度に決定し、平成34年度の開校に向けて取組を進めているところであります。



H29.2 市内小学校視察



H29.7 第17回キラキラコンサート

また、平成29年11月に「千歳市小中連携・一貫教育推進基本方針」を制定し、調査研究実践モデル校区事業に取り組んでいるほか、国が定める学校給食衛生管理基準に合致し、食物アレルギー除去食に対応した新たな学校給食センターの整備についても整備方針及び整備手法の検討を進めております。

今後も、次代を担う子どもたちが一人ひとりの能力や特性を伸ばすとともに、心身ともに健やかに成長することができるよう、子どもの教育環境の整備に取り組んでまいります。

【千歳科学技術大学の公立化】

千歳科学技術大学の公立大学法人化については、科技大の教職員や学生は地域の知的な資源であることや、科技大には地域に若者を集める機能があることなどから、千歳の更なる発展のためには科技大が将来にわたりまちづくりに関わる必要があると判断し、平成29年10月に開催されました市議会の「千歳科学技術大学の公立化に関する調査特別委員会」において、公立大学法人化を「是」とする方針を表明したところであります。

今後、まちの更なる発展に向けた新たな戦略として、若者によるまちづくりに視点を置き、若者が持つ「知力、体力、発信力」が、将来にわたり千歳の発展の活力となるよう、学生が学びの中で、地域の魅力に触れ、地域と関わり合い、地域で活躍する大学を目指し、平成31年4月の公立大学開学に向け取り組んでまいります。



公立大学法人化を目指す千歳科学技術大学

【休日夜間急病センターの整備】

平成29年9月に休日や夜間の急な発熱や腹痛などに対応する内科系の一次（初期）救急医療機関として、休日夜間急病センターを開設しました。

スタッフの体制として、常勤医師2名のほか、非常勤医師10名、さらに北海道大学医学部の第1内科、第2内科及び救急医療講座から診療協力をいただいております。また、薬剤師及び放射線技師は、薬剤師会及び診療放射線技師会の協力を得て運営しております。

この休日夜間急病センターの開設により、これまでの救急外来診療の空白時間の解消を図ることが出来ましたが、引き続き、安定的な運営体制の構築に取り組むとともに、急病センターの適正利用や救急医療機関受診時の留意事項などについて市民への周知を行うなど、市民の安心と安全の確保に努めてまいります。



H29.9 千歳市休日夜間急病センター「ささえーる」開設式

【ごみ処理広域化の推進】

ごみ処理広域化については、本市を含む2市4町で構成する道央廃棄物処理組合において、建設コスト・運営コストの低減や環境負荷の抑制につながる施設の建設を進めており、平成28年度に焼却処理施設建設費及び維持管理費の負担割合を規約に定めたほか、地権者と地域住民のご理解により建設予定地を「千歳市根志越地区」と決定したところであります。

平成29年度は、生活環境影響調査等の各種調査や焼却施設に係る基本設計を実施し、調査結果について住民説明会を行ったところであり、平成30年度には、焼却施設に係る基本設計の内容等を地権者及び地域住民にご説明するとともに、建設予定地の取得を進めたところであります。

今後、平成36年度の供用開始に向けて、関係する自治体とともに着実に事業を推進してまいります。



H28.6 焼却施設建設候補地住民説明会

【交通戦略プランの推進】

地域における通勤、通学、通院、買物など日常生活を支える移動手段である路線バスを維持するため、平成28年3月に「いつでも、どこでも、誰でも移動しやすい交通ネットワークの構築」を基本理念とする「千歳市交通戦略プラン」を策定しました。

平成28年10月にはバス路線を再編するとともに、新運賃制度を導入し、さらに、千歳科学技術大学との共同研究により、スマートフォンやパソコンでバスの運行状況を確認できるバスロケーションシステム「ち～なび」を導入するとともに、千歳駅など4か所にバスの発車・遅れなどの情報がわかるデジタルサイネージを設置し、利便性の向上等を図っております。

平成30年3月には、災害時に迅速な搬送を行うための避難用車両（平常時は市内路線バスとして活用）1台とその輸送拠点となるバスシェルター1基を整備したところであり、以降は10年計画で順次バスとシェルターの整備を進める予定です。また、路線バスに対する補助金については、平成30年度に制度を改正したほか、JR千歳駅前広場の再整備に向け市民によるワークショップを開催しており、平成30年度末を目途に再整備基本計画を策定します。

今後においても、定期的にバス路線の見直しを行うとともに、待合環境の改善など、バス交通における市民の利便性の向上等に取り組みます。



H30.3 避難用車両整備（平常時は路線バスとして活用）

【水道・下水道事業の経営安定化】

水道事業については、これまで道内市の中でも安い水道料金により安全で安定した水道の供給に努めてきましたが、水道施設の老朽化に伴う施設の更新や、耐震化など災害に強い水道施設のための整備費が増加する一方、節水型機器の普及やライフスタイルの変化、企業の環境活動の取り組みなどから使用水量が減少し、収支バランスが崩れてまいりました。

このため、将来的にも安定的な事業経営を継続していくために、平成30年4月及び平成34年4月の2段階に分けて料金の引き上げを行うこととしたところです。

また、下水道事業については、今後も良好な経営状況を維持できる見込みでありますことから、水道料金の増額改定に伴う市民負担の軽減という観点から、これまで取り組んできた経営効率化に伴う固定費のコストダウンの成果を使用者である市民や企業の皆さまへ還元することとし、平成30年4月に下水道使用料の引き下げを行うこととしました。

水道料金の引き上げ改定については、市民や企業の皆さまにも負担をお願いするところですが、いつでも安全でおいしい水を安定的にお届けできるよう、将来の施設更新や水需要の動向を見据えた施設整備計画及び財政収支計画を策定し、水道及び下水道事業の安定運営に努めてまいります。

【道の駅の再整備】

道の駅については、平成27年8月8日に「サケのふるさと千歳水族館」と同時にリニューアルオープンしました。

親子連れが楽しめる「プロジェクションマッピング」や「キッズスペース」を整備したほか、地元野菜の直売所やレストラン、フードコート、土産店の品揃えも充実し、多くの市民や観光客が訪れる観光拠点施設として、年間約10万人の方々に来館いただいております。

今後は、サケのふるさと千歳水族館をはじめとする市内観光施設との連携などにより、観光客が市内を回遊できる仕組みづくりに取り組んでまいります。



H27.8 道の駅リニューアルオープニング

【都市間交流の推進】

本年は、姉妹都市や友好親善都市などの多くの交流がありました。

鹿児島県指宿市とは、イベント交流、青少年交流及び職員交流を継続するとともに、特産品を相互に流通するなどの経済交流に繋がる取組を促進しました。

中国長春市とは、平成28年度からスタートしたマラソン交流事業を継続し、平成30年度は長春市国際マラソンに本市から2名が参加しました。訪問中は、多くのランナーをはじめ、長春市人民政府による歓迎交流会などを通じ、多くの長春市の皆さまと交流を深めることができました。

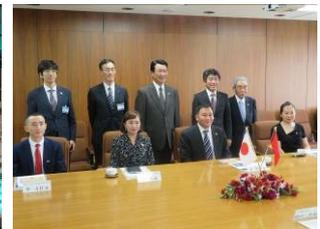
ノルウェー王国コングスベルグ市とは、平成30年に友好親善都市提携30周年を迎えたことから、議長をはじめ、ちとせホルメンコーレンマーチの大会関係者とともにノルウェー王国を訪問し、コングスベルグ市役所、ノルウェー王国外務省、ノルウェー王国スキー連盟などを表敬するとともに、夕食会などにより交流を深めました。

米国アンカレジ市とは、平成31年に姉妹都市提携50周年を迎えることから、記念行事の開催に向けて意見交換と準備を進めています。

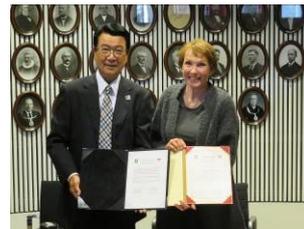
今後とも、都市間交流の機会を通じ、市民力を生かした友好の輪がますます広がることを期待しております。



H29.9 いぶすき温泉祭



H29.6 長春市一行による表敬



H30.9 コングスベルグ市友好親善都市30周年



H29.5 アンカレジ市ミアーズ中学校一行による表敬

【スポーツ合宿・大会の誘致等の推進】

本市は、空港が所在する高い交通の利便性やホテル等の宿泊施設が充実していることに加え、夏季のスポーツ環境に適した冷涼な気候であることから、これらまちの特性と優位性を生かし、スポーツ合宿・大会等の誘致活動を進めています。

平成30年2月に、2020東京オリンピックに向けた日本陸連（マラソン・長距離、競歩種目）ナショナルチームの大会直前合宿地に本市が決定し、平成30年にはアジア競技大会に参加するナショナルチームが直前合宿を実施し、さらに平成31年には世界選手権に参加するナショナルチームの直前合宿が行われる予定です。

今後とも、更なるスポーツ合宿・大会等の誘致を目指し、積極的に取組を進めてまいります。



H30.7 JAAF女子マラソン合宿参加選手と市民の交流RUN!

【キウス周堤墓群の世界遺産登録へ向けた取組み】

平成24年12月、わが国にとって学術上高い評価を持つ史跡キウス周堤墓群が、世界遺産登録を目指す「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産に追加されました。

平成27年度には、世界遺産登録に向けた史跡保存管理計画を策定し、平成30年3月には縄文遺跡群世界遺産登録推進本部として、平成29年度準備状況報告書等を文化庁に提出するなど、取組を進めてまいりました。

その後、平成30年7月19日に文化庁の文化審議会世界文化遺産部会において、平成30年度の世界遺産登録推薦候補に「北海道・北東北の縄文遺跡群」が選定されたところでありますが、平成30年11月2日、誠に残念ながら2020年の世界遺産候補に「奄美大島、徳之島、沖縄県北部および西表島」を推薦するとの政府発表があり、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の推薦は見送られることとなりましたが、今後も引き続き、保存管理体制の整備や史跡の追加指定などを進め、一年でも早い世界遺産登録への推薦を目指して取り組んでまいります。



H30.8 鈴木俊一大臣によるキウス周堤墓群の視察

【市役所第2庁舎の建設と本庁舎耐震化の推進】

市役所第2庁舎の建設については、平成29年10月から着工しており、平成31年2月12日の開庁に向けて、円滑な事務機能移転が行えるよう準備を進めているところであります。

本庁舎の耐震等改修については、第2庁舎の開庁後に内部改修と事務スペースの移転を各階ごと交互に行うこととしており、平成31年度中の完了を目指しております。

第2庁舎の建設及び本庁舎の耐震等改修による行政機能の集約化により、市民の利便性向上を図るなどより一層の市民サービスの充実に努めてまいります。



市役所第2庁舎イメージ（平成31年2月開庁予定）

【健全な財政運営】

市の財政運営については、「千歳市財政標準化計画」に基づき、財政健全化対策により改善された収支バランスを維持・持続するため、歳出の削減、効率化を進めるとともに、将来の負担軽減に努めるなど、財政運営の健全性の確保に努めてまいりました。

今後も、市民の安心とまちの活力を高める施策を重点的に取り組むとともに、中長期的な視点に立って、強固で持続可能な財政基盤の確立に向け、取り組んでまいります。



H28.2 新年度予算についてのプレス発表

公約への取組み

まちづくりの目標を実現するため、3期目に引き続き「3つの活力」と「3つの安心」を柱とした施策を展開することとし、その中で重点的かつ効果的に取組む「重点施策」として、「経済・雇用」、「市民協働・地域活動」、「医療・福祉」、「子育て・教育」、「環境・防災」の5つを位置づけ、選択と集中により推進し、公約の達成に取り組んでまいりました。

《公約達成状況》

| | |
|------|---|
| 達成 | 29項目（48.3%） |
| 一部達成 | 28項目（46.7%） |
| 小計 | 57項目（95.0%） |
| 取組み中 | 3項目（5.0%） 道道泉沢新千歳空港線の整備、給食センターの新築移転、ごみ処理広域化の推進 |
| 計 | 60項目 |

平成30年度末の見込みを含む。

3つの 活力

地域経済の活性化と雇用の拡大

活力ある地域経済の確立と雇用の拡大に向けて、企業誘致活動や就職支援の取組を推進するとともに、道の駅の再整備をはじめ観光振興により地域の活性化に取り組んでまいりました。また、まちの活力に大きな影響を与える自衛隊の体制については、その強化に向け、国への働きかけなど様々な活動を行ってまいりました。

就職支援の推進

- ・ U I J ターン就職促進事業の実施
- ・ 雇用情報センター設置運営事業の実施
- ・ 季節労働者就労対策事業の実施
- ・ 地元就職・人材確保支援事業の実施（H29～）

商業振興の推進

- ・ 第2期商業振興プランの策定（H28年3月）
- ・ 第2期商業振興プランに基づく商業振興支援事業の実施
- ・ 商店街振興事業によるイベント開催支援
- ・ 中心商店街空き店舗利用促進事業の実施
- ・ 中心商店街にぎわい創出事業の実施
- ・ 商店街人材育成事業の実施
- ・ 「まちゼミ」の実施（H29～）
- ・ 「エリアリノベーション・テナントミックス」の推進

企業誘致の推進

- ・ 積極的な企業誘致
立地実績（H30年10月末現在）
H27：6件、H28：10件、H29：6件、H30：4件、計26件
山口市政1期目から通算で100件
- ・ 地域企業販路開拓支援事業の実施（H27～）
- ・ 北海道地域地方活力向上地域特定業務施設整備促進プロジェクトの策定（H27年10月）
- ・ 地域未来投資促進法に基づく千歳市基本計画の策定（H29年9月）

次世代につなぐ農林業の推進

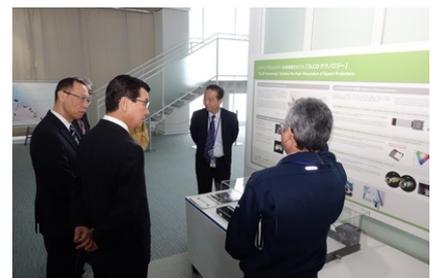
- ・ 経営所得等安定対策や人・農地問題解決加速化支援事業等の実施
- ・ 農地・水保全管理支払事業（多面的機能支払事業）の実施
- ・ 国の農業次世代人材投資事業を補完する新規就農者特別支援事業の実施
- ・ 千歳市農商工連携等推進会議を活用し、農業者による6次産業化の取組を推進

公共工事における地元企業の活用

- ・ 上半期85%の発注を実施
- ・ 元請下請適正化指導要綱に基づく地元企業の活用推進



H28.12 千歳タウンプラザ新施設オープニングセレモニー



H29.2 市内立地企業へ訪問



H30.8 農作物生育状況調査

3つの 活力

移住・定住施策の推進

- ・「千歳市人口ビジョン・総合戦略～みんなで97,000プロジェクト」の推進
- ・平成30年4月に人口97,000人を達成
- ・新たな人口目標10万人の実現に向けた計画づくりの着手

自衛隊と共存共栄するまちづくり

- ・「千歳市の自衛隊を支える中央大会」の実施（H27年11月24日、東京都）
- ・北海道自衛隊駐屯地等連絡協議会による「北海道の自衛隊を支える中央大会2016」（H28年8月24日、東京都）及び「北海道の自衛隊を支える中央大会2018」（H30年7月24日、東京都）の実施
- ・自衛隊の体制維持・強化を目指し、中央要望等の活動の実施

観光振興の推進

- ・市ホームページ「ちとせの観光」やInstagramを活用した観光PR
- ・外国人向けに5か国語に対応した観光パンフレットの作成（英語、韓国語、中国語（簡体字）、中国語（繁体字）、タイ語）
- ・タイ王国バンコクへの観光PRプロモーション（H28年8月）
- ・各種イベントへの支援実施
- ・グリーン・ツーリズムの促進
- ・支笏湖産ヒメマスのブランド化及びヒメマスを活用した商品開発の促進

道の駅の再整備（H26～27：工事、H27年8月：リニューアルオープン）

スポーツ合宿・大会の誘致等の推進

- ・2020東京オリンピックに向けた日本陸連(マラソン・長距離・競歩種目)ナショナルチームの大会直前合宿地に千歳市が決定
- ・実業団陸上競技チームに対する継続したプロモーション活動の実施
- ・ゴルフツーリズム、サイクルツーリズム、マラニックなどの推進

スポーツ施設の整備充実

- ・市内スポーツ施設の計画的な整備

国際交流の推進、姉妹都市交流等の推進

- ・鹿児島県指宿市とのイベント交流、青少年交流、職員交流の実施
- ・市内中学校と米国アンカレジ市のサンドレイク小学校及びミアーズ中学校との交流推進
- ・ノルウェー王国コングスベルグ市との友好親善都市提携30周年記念訪問事業の実施（H30年9月）
- ・中国長春市とのマラソン交流（H28～）



H30.4 人口97,000人プロジェクト達成記念セミナー



H30.7 北海道の自衛隊体制強化を求める要望（山崎陸上幕僚長）



H30.7 支笏湖漁業協同組合の皆さまと



H29.10 千歳グルメわくわく観光マラニック開会式



H29.9 しいぶすき温泉祭

3つの 活力

出会い応援事業の実施

- ・結婚活動応援事業の実施（H27～）

グリーンベルト活性化の推進

- ・再整備の実施（H27完了）

道道泉沢新千歳空港線の整備

- ・道道泉沢新千歳空港線の整備に向けた要望活動の実施

道央圏連絡道路の整備促進

- ・道央圏連絡道路の整備促進（泉郷道路（中央～国道274号）はH31年度供用開始予定）

新千歳空港の機能強化

- ・国際線ターミナル地域再編事業の促進（H28～H31予定）
- ・末端取付誘導路及び平行誘導路の複線化整備（H30～）
- ・深夜・早朝時間帯の飛行枠の拡大（6枠 30枠）
（H27年8月地域合意）
- ・深夜・早朝時間帯の枠拡大に係る地域合意に基づく住宅防音工事等の実施
- ・北海道内7空港一括民間委託に向けた対応

国道453号の安全対策の強化

- ・支笏湖温泉歩道整備事業の促進
- ・雪崩や越波対策・土砂崩れ対策などの安全対策、自転車道及び歩道の整備などの要望活動の実施

交通戦略プランの推進

- ・交通戦略プランの策定（H28年3月）
- ・全市的なバス路線の再編及び新運賃制度の導入（H28年10月～）
- ・バスロケーションシステムの導入とデジタルサイネージの設置
- ・避難用車両等整備事業の推進（H29～）
- ・JR千歳駅前広場の再整備に向けたビジョンの策定

道路・公園施設ストックマネジメントの推進

- ・千歳市道路維持修繕計画の策定（H28年3月）
- ・千歳市生活道路整備計画の策定（H30年3月）
- ・千歳市橋梁長寿命化修繕計画の中間見直し（H30年3月）
- ・千歳市公園施設等総合管理計画の策定（H30年8月）

水道・下水道事業の経営安定化

- ・水道料金の改定（H30年4月～）
- ・下水道料金の引き下げ（H30年4月～）



H29.3 結婚活動応援事業によるご婚活お祝いセレモニー



H28.9 空港開港90周年行事（飛行機との綱引き）



H28.11 空港国際線ターミナルビル事業着工式



H30.3 避難用車両整備（平常時は路線バスとして活用）

市民協働の拡充と地域活動の充実

市民提案型又は市提案型の協働事業のほか、事業者と市民活動団体をつなぐ“縁結び”事業や市民協働フォローアップ事業などに取り組むとともに、「ひと・まちづくり助成事業」の制度を見直したほか、北桜コミュニティセンターや町内会館整備などを行ってまいりました。

市民協働の推進

- ・市民協働事業の推進
- ・H28：ひと・まちづくり助成事業の補助期間延長などの見直し
実績：協働事業：(市民提案型) 9事業、(市提案型) 12事業
ひと・まちづくり助成事業：16事業
市民協働プロモーション事業：7事業
市民協働サポート事業：2事業
縁結び事業：4件



H28.8 住吉北町内会 50周年

町内会活動の支援

- ・町内会館の整備 (H27：桂木、福住、H28：幸福)
- ・町内会活性化支援 (H30～：モデル町内会の取組を普及啓発)
- ・町内会等が設置する防犯灯のLED化を促進

コミュニティ機能の充実

- ・コミュニティセンターの改修 (H27：北桜)

新千歳市史(下巻)の編さん



H28.9 泉郷地区秋祭り

市役所改革の継続と健全な財政運営

市民の多様なニーズや変化の速い社会環境に的確に対応し、市民協働の意識を持つ職員の育成を図るとともに、民間活力の活用による行政の効率化や市民サービス向上を進めるため、市役所改革に取り組んでまいりました。

また、財政標準化計画に基づき、強固な財政基盤の確立を図りながら、効果的で効率的な行政経営に取り組んでまいりました。

職員の意識改革推進

- ・人事評価制度の完全実施 (H28年10月～)
- ・資格取得等助成事業の増額 (H28～)
- ・働き方改革の推進 (H29年1月：千歳市イクボス宣言)

政策課題に対応する効率的な組織機構改革

- ・こども福祉部の新設 (H29年4月)
- ・職員再任用制度の組織体制づくりへの反映
- ・会議等のペーパーレス化を目指した検討

民間活力活用の推進

- ・市民課窓口業務の民間委託に向けた準備 (H31年実施予定)

財政標準化計画の推進

公共施設等総合管理計画の策定 (H29年3月)



H29.1 千歳市イクボス宣言

3つの 安心

医療・福祉の充実

すべての市民が心身ともに健康で、生きる喜びを実感しながら暮らせるよう医療体制の充実に努めるとともに、こころの健康づくりに向けた取組を進めてまいりました。

また、休日夜間急病センターの整備により救急医療体制を充実したほか、地域密着型サービス事業所の計画的な整備を図り、高齢者や障がい者が安全に安心して生活を送ることができるよう地域福祉の充実に取り組んでまいりました。

平成30年3月には、「千歳市手話言語条例」を制定し、手話に対する理解の促進及び手話の普及を推進してまいりました。

市民病院における医療体制の充実

- ・ 医師の増員（H29～常勤医師3名増員）
- ・ 高度医療機器等の整備
- ・ 病院経営健全化対策の推進
- ・ 「ちえネット」（地域連携ネットワーク）の推進

こころの健康づくりと自殺対策の推進

- ・ 第2次健康づくり計画（H28年3月策定）に「こころの健康づくり」を定め各種取組を推進
- ・ (仮称)千歳市自殺対策計画の策定（H30年度中に策定）

休日夜間急病センターの整備

- ・ 千歳市休日夜間急病センター（ささえーる）の開設（H29年9月）

生活困窮者自立支援の推進

- ・ 「ちとせ学習チャレンジ塾」の開設（H27年8月）
- ・ 子どもたちを支援するボランティアのための人材バンクの開設

障がい者の就労支援と雇用機会の拡大

- ・ 障がい者就労支援事業における就労推進員の増員（H28～）
- ・ 千歳市手話言語条例制定（H30.3施行）

公営住宅の長寿命化の推進

- ・ 千歳市公営住宅等長寿命化計画の中間見直し（H29）
- ・ 公営住宅の整備
みどり団地3号棟：H28完成
公営住宅棟長寿命化型改善等事業の推進
北栄団地1号棟：H29～H31
既存借上型市営住宅の整備（H30～20戸、H31～30戸）



H30.3 千歳市手話言語条例制定



H29.9 がん予防啓発推進に関する連携協定締結式



H29.9 千歳市休日夜間急病センター「ささえーる」開設式



H28.9 第57回全道ろうあ者大会

3つの安心

総合福祉センター耐震化等の推進

H27：耐震化工事 H29～H30：非常用階段改修 H30～：空調設備等更新

高齢者の地域密着型サービスの充実

- ・第6期千歳市介護保険事業計画（H27～H29）における整備実績
 - 定期巡回・随時対応型訪問介護看護：1事業所（H28指定）
 - 認知症対応型通所介護：1事業所（H29指定）
 - 小規模多機能型居宅介護：1事業所（H29指定）
 - 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）：1事業所（H28指定）
- ・第7期千歳市介護保険事業計画（H30～H32）による計画的な整備の推進
 - 小規模多機能型居宅介護：2事業所（H31指定予定）
 - 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）：2事業所（H31指定予定）



H30.4 千歳市在宅医療・介護連携支援センター開設式



H29.5 小規模多機能ホーム花園の家
デイサービス花園開所式



H29.9 満100歳高齢者への千歳市敬老祝金の贈呈



H29.11 支笏湖地区敬老会

3つの 安心

子育て支援と教育の充実

未来を担う子どもたちが、生き生きと学び健やかに成長するとともに、安心して子どもを産み育てられるよう“子育てするなら、千歳市”の構築に向け、妊娠・出産・子育てに関する総合的な相談窓口となる「ちとせ版ネウボラの開設」(H28～)や助産師が妊産婦をケアする「産前産後ケアの導入」(H28～)、また、小学校入学前の子どもの医療費を原則無料化とする「子ども医療費助成事業の拡充」など、多様な子育て支援策の充実に取り組んでまいりました。

学校教育については、児童・生徒の安全・安心な教育環境を確保するため、屋内運動場を対象とした非構造部材の耐震化や校舎の大規模改修などを計画的に進めるとともに、過大規模校となっている北陽小学校の分離新設を決定したほか、食物アレルギー除去食に対応した新たな学校給食センターの建設に向けた取組を進めてまいりました。

千歳科学技術大学の公立化については、千歳を知り千歳を身近に感じる授業科目を導入するとともに、多様な社会で活躍できる有能な人材を輩出する「若者が地域に学び、地域で活躍する大学」を目指し、平成31年4月の公立大学法人化に向け取り組んでまいります。

幼保連携型認定こども園の普及促進と保育料の軽減

- ・市立認定こども園(2園) 私立認定こども園(10園)(H30時点)
- ・国・北海道による保育料軽減策の実施に合わせ、千歳市独自の保育料軽減策(市民税非課税世帯の保育料完全無償化)を実施(H29年～)

地域子育て支援センターの拡充

- ・児童館7館において地域子育て支援拠点事業(連携型)を実施(H27～)

ちとせ子育てコンシェルジュの導入

- ・ちとせ子育てコンシェルジュを4名配置(H27～)
(ちとせっこセンター：2名、げんきっこセンター：2名)

学童クラブの受け入れ拡大

- ・対象学年を小学校6年生までに拡大(H27～)
- ・学童クラブの整備
高台小学校区：「あすなる」(H29～)
北陽小学校区：「なかよし」「にじいろ」(H29～)
緑小学校区：「みどりっこ」「よつば」(H30～)

不妊治療費の助成

- ・千歳市の特定不妊治療費助成の開始(H27～)
- ・二子目以降の助成対象を拡大(H28～)
- ・男性不妊治療費助成を開始(H29～)
- ・千歳市独自制度として一般不妊治療費助成の開始(H28～)



H29.4 認定こども園つくし保育園開園式



H29.2 あすなる学童クラブ開所式



H27.11 いいお産の日in千歳

3つの 安心

学力・体力向上に向けた施策の推進

- ・ I C T 機器（電子黒板・実物投影機・ブルーレイレコーダー）の整備
H28：小学校 14 校の習熟度別少人数指導教室及び特別支援学級、中学校 7 校の特別教室
H29：小学校 15 校の特別教室、中学校 6 校の特別教室
市内小中学校の全普通科教室に加え、習熟度別少人数指導教室及び主要な特別教室における整備を完了
- ・ デジタル教科書の整備
H27：市内全小学校に主要 4 教科のデジタル教科書を整備
H28：市内全中学校に主要 5 教科のデジタル教科書を整備
- ・ 習熟度別少人数指導のための学習支援員の配置
小学校 13 校 22 名、中学校 4 校 4 名（H30 年度現在）
- ・ コーディネーション運動（体づくり運動）の取組
「新体力テストの実施方法改善に向けた実践事業」による成果の普及促進



I C T 機器を活用した授業の視察

安全・安心で快適な学校施設の充実

- ・ 小中学校の改修工事及び放送設備更新の実施
- ・ 非構造部材の耐震化（H30 完了予定）

総合教育会議の設置と教育大綱の策定

- ・ 千歳市総合教育会議の設置と千歳市教育大綱の策定（H27）
- ・ 毎年 2 回程度の会議を開催



H28.12 千歳市総合教育会議

給食センターの新築移転

- ・ 整備手法等調査業務の実施（H29）
- ・ 給食センターの整備に向けた整備方針及び整備手法の検討

教職員住宅の整備

- ・ 管理職住宅の順次整備（市街地：1 校 1 戸、支笏湖：1 校 2 戸）
- ・ 市街地の一般教職員住宅の整備方針の策定（H30 年 1 月）

キウス周堤墓群の保存と活用

- ・ 世界遺産登録に向けた取組の実施
- ・ 「北海道・北東北の縄文遺跡群」が平成 30 年度の世界遺産登録推薦候補に選定（H30 年 7 月）



世界遺産登録を目指すキウス周堤墓群

3つの安心

環境・防災の充実

千歳川上流域の水質を保全するため支笏湖温泉地区の公共下水道千歳処理区への統合を進めたほか、ごみの安定的処理と環境負荷の低減を図るため、ごみ処理広域化の取組を進めてまいりました。

また、さまざまな災害から市民生活を守り、安心して暮らせるための環境づくりや基盤整備を進めてまいりました。

住宅防音工事の促進（待機世帯の縮減）

支笏湖畔下水処理の千歳処理区への統合（H25～H28：工事、H29：供用開始）

省エネルギー化の推進

- ・エコチャレンジ補助事業の実施
（太陽光発電システム助成：H27～H29：59件、H29終了）
- ・中小企業向け千歳版環境マネジメントシステム（エコちとせ）の普及拡大
- ・エコアクション（千歳市役所環境マネジメントシステム）の実施

C経路の舗装補修の推進（舗装補修工事：H27～H31、計1.7km）

ごみ処理広域化の推進

H27：建設候補地の選定（千歳市根志越）、H28：現況測量調査等、
H29：基本設計、H30：用地取得、H31：実施設計、
H32～H35：建設工事、H36：施設供用開始（予定）、外構工事）

北千歳駐屯地急傾斜地対策の推進
（工事計画延長1,336m、H27：工事完了）

千歳川総合治水対策の促進（遊水地群の整備：H27～）

消防総合庁舎の改修整備（H27：耐震設計、H28：耐震改修工事）

防災備蓄倉庫の整備（H27：8棟、H28：11棟、計19棟）

消防行政無線デジタル化の整備

（H28：基本設計、H29：実施設計、H30～H31：工事、
H32：運用開始）

市役所第2庁舎の建設と本庁舎耐震化の推進

第2庁舎（H28：実施設計、H29～H30：建設工事、H31.2.12：開庁予定）

本庁舎（H30：実施設計、H31：耐震改修工事）



H29.6 北海道基地協議会による要望



H28.9 千歳市総合防災訓練



H28.8 千歳工業クラブ災害協定締結

写真で見る活動記録



H30.7 市政施行 60 周年記念式



H30.2 ノルウェー王国首相との夕食会



H30.2 ちとせホルメンコーレンマーチ



H29.5 花と緑のフェスタ メモリアルツリー贈呈式



H29.5 千歳ウェルカム花ロード



H29.9 アシリチェブノミ



H29.11 チトセ市民芸術祭 千歳美術協会美術展



H29.11 東京千歳会交流会



H30.5 水森かおりさんへ千歳市観光PR大使を委嘱



H28.5 太宰府天満宮すずらん奉納



H30.8 千歳市民納涼盆踊り大会

写真で見る活動記録



H28.11 千歳川桜プロジェクト植樹式



H28.6 水と緑を歩こう会



H28.12 千歳基地年末行事



H30.11 市長出前講座（高星大学）



H27.6 千歳JAL国際マラソン



H29.11 北海道自衛隊駐屯地等連絡協議会による内閣総理大臣要望



H28.7 スカイ・ピア&YOSAKOI祭



H30.9 千歳市子育てママ応援会議



H30.1 スノーバスターズ2018



H28.9 中央地区秋祭り



H30.4 防衛装備庁千歳試験場改名式

平成30年12月7日発行

千歳市役所企画部秘書課 0123-24-0491